

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか		○		ホールを2分割したり、別室を使用している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			児童の実態に合わせて個別対応、複数対応している。また、当日の職員数と利用児数のバランスを見て、職員の配置や活動の運用方法を決めている。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか		○		パーテーションや個別室等で構造化している。絵カードやPC等で視覚化して分かりやすいようにしているが、まだまだ十分ではない。 集中しやすいように活動中はおもちゃが見えないよう布をかけている。 商業ビルの為、トイレに子ども便座や踏み台を置いている。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			アルコール消毒を毎回行っている、事故防止のための環境の点検を行っている。子ども用に作られた物が少なく危険も多いため、コーナーガードを設置するなど安全点検を実施し改善している。
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務を役割分担し、効率化を図っているが、目標設定が曖昧な部分がある。
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			保護者評価が低かった項目について改善し、情報を開示するようにしている。
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			送迎時など保護者とのコミュニケーションを取れる機会を大切にしている。
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			KIDS乳幼児発達スケールを用いている。
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			定期的な面談実施や、保育園等の他機関と保護者三者での面談等を行っている。

	⑬ 児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○				
	⑭ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑮ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			週ごとに集団活動を変え、季節行事なども実施している。	
	⑯ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○			個別活動では一人一人のレベルを数値化し、できたの経験を積める目標を設定している	
	⑰ 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			朝のミーティングやLINE等を活用して情報共有を行っている。	
	⑱ 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか		○		必要に応じて行っている。	
	⑲ 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			毎日児発管が記録の確認を行い、検証している。	
	⑳ 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	㉑ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	㉒ 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			同じ法人の保育園とは定期的に情報共有している。	
	㉓ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障がい福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか		○			対象児がない。
	㉔ (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか			○		対象児がない。
	㉕ 移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○				
	㉖ 移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか			○		
	㉗ 他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				

	⑳ 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか		○		
	㉑ (自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			
	㉒ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			送迎時やLINE・HUGで情報共有を行い、必要に応じ面談を行っている。
	㉓ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか			○	今後、研修を受け、実践していきたい
保護者への説明責任等	㉔ 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			
	㉕ 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			
	㉖ 定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			
	㉗ 父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			不定期で子育てサロンを開催している。
	㉘ 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			
	㉙ 定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			LINEやHUGで活動内容の周知をしている。またイメールライン(会報)の配布をしている。
	㉚ 個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			各家庭に撮影許可等のアンケートを配布している。
	㉛ 障がいのある子どもや保護者との意思疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			手話の全体共有や指文字表の設置、絵カードの使用をして意思疎通や情報伝達の配慮を行っている。
	㉜ 事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			子育てサロンの実施や子ども食堂の運営を行っている。
	非常時等の対応	㉝ 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか		○	
㉞ 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか		○			避難訓練を年に法定回数に応じて、2回実施している。

④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			対応を含めた情報共有を口頭や書面報告にて行っている。
④④	食物アレルギーのある子どもについて、示書に基づく対応がされているか 医師の指示に基づく対応がされているか	○			
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか		○		

◎ この「事業所における自己評価結果（公表）」は、事業所全体で行った自己評価です。